

NEWS RELEASE

平成 19 年 10 月 17 日

市光工業株式会社

ICK009

市光工業株式会社

第 40 回東京モーターショーに出展

～車の自由度と安全性を確保するための新たなソリューション
「360 度全方位×全天候 24 時間監視技術」を強力にアピール～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区五反田、代表取締役社長：市川侑男、以下市光工業）では、10 月 26 日（金）から 11 月 11 日（日）にかけて、千葉県の幕張メッセで開催される「第 40 回東京モーターショー 2007」に出展します。

市光工業では、同社の技術力の高さや製品ラインアップの多さを訴求することを目的に「東京モーターショー」に毎年出展しています。第 40 回を迎える本年は、「360 degrees×24hours VISION SAFETY TECHNOLOGY」というコンセプトを打ち出し、人の感覚に最も近い全方位安全のための総合技術を訴求すべく、様々な商品を紹介し、主な出展商品としては「SAFETY VISION」の追加ユニットとして 3 つの映像を 1 つの画像に同時に表示できる「MULTI VISION SS-300」や、運転席からの死角となる左サイドを赤外線搭載の高性能 CCD カメラで映像化する後付用システム「SIDE ASSIST」を展示します。また、今回のモーターショーで初めて紹介する世界初インナーローリング構造を採用した「フラットワイパー」なども発表します。

今回、市光工業は同展示会において、今年の「人と車のテクノロジー展」で優良賞を受賞した同じデザインのブースを採用します。

市光工業が出展する「第 40 回東京モーターショー」は、「世界に、未来に、ニュースです。」をテーマに社団法人自動車工業会が開催する世界三大モーターショーのひとつです。環境や安全、快適性はもとより、生活に多彩な楽しみ方や感動を提供する自動車や自動車製品が世界中から集められる展示会です。自動車工業会の発表によると、世界 11 ヶ国・1 地域から 4 政府・1 団体・241 社の出品者が参加する予定で、幕張メッセの全施設を使用して実施されます。

世界の技術光源になる

ICHIKOH

(このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。)

なお、展示製品の詳細については、別記の通りです。

(参考)

市光工業株式会社（以下、市光工業）は、1903年の創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及びGMやダイムラークライスラーなどの海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されているHIDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで23%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2006年実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

(株)VAインターナショナル
田中/川崎

TEL: 03-3499-0016
FAX: 03-3499-0017

市光工業の東京モーターショーにおける展示製品一覧

- LED 灯具熱解析シュミレーション
- LED 導光リアランプ (ARS 機能付)
- サイド ブラインド デテクテション システム
Side Blind Detestation System
- プリズムカメラ
- ライティングコンソールテーブル
- 解体可能なランプ防水シール材
- ミラー軽量化技術 (シェルフレーム)
- ウインカー スラール ミラー
WINKER THROUGH MIRROR
- サイド アシスト
SIDE ASSIST
- フラットワイパー(新製品)
- セーフティ ビジョン: 新型モニター ST-500 シリーズ
- ビジョン: マルチビジョンユニット SS-300



東京モーターショー会場内のブースイメージ